



第 34 号

2009年 6月 20日

発行者 車田孝夫
発行所 栃木県立大田原高等学校
紫塚同窓会
印刷所 飯村印刷所



創立百十周年に向けて



同窓会長 車田孝夫

新メンバーで同窓会の運営を始めてから一年。この間、会員各位から賜りましたご協力に対して、心から感謝と御礼を申し上げます。

今年度総会は、去る五月十六日に開催され、報告・協議事項とも、総てご承認いただきました。総会に続いて栄典者祝賀会

が開催されました。秋、春の叙勲で受章の榮に浴された五名の皆様に対して、ここに改めて心からのお祝いを申し上げます。

かねてからの課題の一つであった副会長・監事が会務を分担する体制は出来上がりつつありますが、会の活性化、財政問題、事業・行事の見直し等に関しては引き続き検討しなければなりません。母校創立百十周年記念事

も盛大に開催されますように、

業の一つとして考えていました。会員名簿発行の件は、総会で承認を頂き、すでに作成作業を始めていますが、その他の記念事業等に関しては、皆様からのご意見・ご提案を頂き、学校側とも相談しながら準備を進めて行きたいと思っています。

本年度の入会者は二百三十七名で、同窓生総数は二万二千七百四十五名となりました。

創立記念式典には同窓生も大勢出席し、「質素堅実」の校訓のもと、遅しい大高生活を送っている後輩たちと共に母校の誕生日を祝いました。

十年会は、同窓会の伝統ある一大行事でありますから、本年も盛大に開催されますように、

該当年次の皆様が大勢ご参加下さいませ。同窓会の活性化のために、同窓会や各支部の活動も活発になることを念じます。

最後にになりましたが森島堅二校長先生はじめ諸先生のご協力に、感謝申し上げますと共に母校の益々の発展を祈念いたします。



現在の母校管理棟

着任にあたって



学校長 森島堅二

今年四月から、藤田前校長の後任として宇都宮中央女子高校から参りました森島です。高校二十二回の卒業で、本校での勤務は二度目となります。どうぞよろしく願います。

前回は、昭和六十年から平成三年までの六年間お世話になりました。まだ三十代前半の元気な時代で、生徒には負けられないという気持ちで、充実した毎日を送っていました。

昭和六十年に赴任したときには強歩の基本的な計画はほぼ固まっております。翌六十一年に着任された提橋校長の大英断で、校訓「質素堅実」を具現化することになりました。

歩く距離について、計画の初期の段階ではいくつかの案があったようですが、最終的には百キ

ロカ八十五キロかという議論になりました。百キロがいいという意見もありましたが、初めて実施する行事であることや、一部山岳地帯を歩くことなどから慎重論が優勢となり、最後には、「来年、本校は創立八十五周年を迎えるので、八十五キロにしましょう」という校長先生の一言で、八十五キロ強歩ということになりました。

実施に当たり、生徒の前に誰か歩く必要があるだろうということが、八十五キロでよかったと思っただけでも懐かしい思い出です。

強歩も今年で二十四回を数え、たくさんの方々の御協力により無事終了することができました。同窓会の方々にも、それぞれの立場から多大な御尽力を賜り誠にありがとうございます。結びに、紫塚同窓会のますますの御発展と、同窓生の皆様の一層の御活躍を御祈念申し上げます。

平成二十一年度総会並びに 栄典者祝賀会

去る五月十六日(土)平成二十一年度の紫塚同窓会総会並びに栄典者祝賀会が、大田原市「いわいや」において、同窓生、事務局を合わせ七十一名の参加を得て開催された。

総会は、例年通り十年会該当年次に当たる高二十一回鈴木俊貴氏の司会で進められた。

先ず同窓会を代表し車田孝夫会長が、日頃の支援協力に対するお礼。副会長が会務を分担し報告すること。会の活性化に向けて提案があるなどと挨拶された。

続いて本年四月に着任された森島堅二校長の挨拶。高二十二回卒の同窓生であり、強歩スタート時にも教鞭をとられていたと



のこと。当時の苦勞話を含めてご挨拶いただいた。

引き続き車田会長が議長になり議事に入った。

議事録署名人として高十四回、藤田宗平氏、藤田昌彦教諭が、議長から指名された。

【協議事項】は次の通り。

- ①平成二十一年度事業・予算案 査報告
- ②平成二十一年度事業・予算案
- ③同窓会会員名簿発行について
- ④常任理事・理事について
- ⑤その他

◆それぞれ担当副会長から報告があり協議の結果、①、②は原案通り承認された。③の会員名簿発行は、会の活性化のため必要であると承認され、平成二十二年十一月の発行を目指すことになった。④では、本会活性化のため各年次の常任理事、理事の見直しについて、承認され、見直しと共に各年次から代表常任理事一名の選任をお願いすることになった。(本年八月末まで)

【報告事項】

- ①常任理事・理事の変更・追加
- ②平成二十一年度栄典者について
- ③その他

◆③その他で、杉本広事務長から母校の正面に生えていたニワウルシ(大田原市銘木百選にも選ばれていた)が、樹勢回復策の甲斐もなく、天寿を全うし本年一月末に倒木したと報告があった。



【その他】紫塚奨学団の報告と、紫塚同窓会東京会大島会長の支部近況報告の後、閉会となった。会場を移し総会同様鈴木俊貴氏の司会で栄典者祝賀会が催された。本年度の栄典者は次の通り。

- ◆秋の叙勲二名
旭日双光章 廻谷三男氏(中41)
 - 瑞宝小綬章 桜岡 勉氏(高6)
 - ◆春の叙勲三名
瑞宝双光章 相馬新吉氏(高5)
 - 瑞宝小綬章 小林貞夫氏(高7)
 - 瑞宝双光章 永井 全氏(高9)
- の合計五名の方で、廻谷氏と永井氏のご臨席を賜った。
- 先ず車田会長から栄典者の紹介と労いの言葉があり、出席されたお二人からお言葉をいただいた。何れもお人柄を伺い知る含蓄に富んだものであった。大島副会長の音頭で祝宴に入り、和やかな中にも熱気に満ちた祝

常任理事会

賀会となった。会の締めは、前東京会会長三本木武氏(高二回)の万歳三唱、名残を惜しみながら閉会となった。

今年度も十年会該当年次の方々、母校の先生方に特段のご協力をいただいたことを、この場をお借りしてお礼申し上げたい。

平成二十一年二月十七日(火)

母校会議室で開催された。出席者五十五名。車田会長が議長となり会議が進められた。議長から議事録署名人として、高十九回、氷見定明氏、学校側から藤田昌彦教諭が指名された。議事内容は次の通り。

【協議事項】①平成二十一年度事業報告、②平成二十一年度一般・特別会計中間報告、③平成二十一年度事業計画・予算(案)、④同窓会会員名簿発行について、⑤その他

【報告事項】①創立百七回記念講演者について、②常任理事・理事の変更・追加、③平成二十一年度栄典者について、④その他◆それぞれ担当副会長、会計担当事務局から説明し、「同窓会総会にかける原案」として協議承認された。特記すべき点として、④の同窓会会員名簿の発行は、会の活性化のため必要であると承認された。⑤その他の項目で、活性化のため各卒業年次の常任理事、理事の役割と充実について、総務担当小林副会長から熱い説明があり、出席者の賛同を得た。

井上眼科医院

井上 成紀(高12回) 井上 直紀(高43回)
井上 順(高44回) 井上 亮(高49回)

〒324-0051 大田原市山の手1-2-11
☎ 0287-22-2514

車田 医院

車田 孝夫(高3回)
車田 宏之(高32回)

栃木県大田原市大豆田457-24
電話 0287(54)0062

平成20年度紫塚同窓会一般会計決算報告

収入額	5,754,507
支出額	4,126,652
残額	1,627,855

1. 収入の部

項目	予算	収入	増減	備考
前年度繰越	1,813,644	1,813,644	0	
入会金	2,370,000	2,370,000	0	平成19年度卒業生の入会終身会費
会費	650,000	710,000	60,000	同窓生の終身会費
寄付金	50,000	75,000	25,000	匿名希望様 ¥40,000 匿名希望様 ¥20,000 匿名希望様 ¥15,000
雑収入	486,356	785,863	299,507	会報の広告料、利息等
合計	5,370,000	5,754,507	384,507	

2. 支出の部

項目	予算	支出	残額	備考
創立記念費	200,000	201,970	△ 1,970	講師への謝礼、茶費経費等
総会費	250,000	183,600	66,400	新聞への広告掲載、案内書等
十年会費	500,000	432,499	67,501	案内状の郵送、表信箋等
会議費	150,000	54,172	95,828	常任理事会等の経費
通信費	50,000	26,180	23,820	常任理事会の案内書等
会報	1,300,000	1,271,628	28,372	会報の印刷、郵送等
卒業褒賞補助	100,000	100,000	0	卒業証書ホルダー代金の補助
母校活動補助	600,000	571,010	28,990	強歩用立て看板の購入、製作等
慶弔費	450,000	320,060	129,940	祝い金、香典等
支部会等補助	450,000	430,000	20,000	支部会・同期会への補助金
旅費	330,000	264,485	65,515	支部会・同期会出席に伴う交通費等
事務費	100,000	878	99,122	消耗品等
基金積立	400,000	237,000	163,000	110周年に向けての積み立て
雑費	70,000	33,170	36,830	郵便振替手数料等
予備費	420,000	0	420,000	
合計	5,370,000	4,126,652	1,243,348	

平成20年度紫塚同窓会110周年記念事業積立決算報告

項目	金額
収入額	237,000
支出額	0
残額	237,000

収入の部

項目	金額	備考
基金積立	237,000	一般会計より
雑収入	0	預金利息
合計	237,000	

平成20年度紫塚同窓会事業報告

- 4月18日(金) 第106回創立記念式典
(記念講演講師:高19回 笠原 忠氏)
- 4月22日(火) 監査(玉木・神島監事)
- 5月9日(金) 総会及び十年会第1回準備会
- 5月17日(土) 総会及び栄典者祝賀会
- 6月17日(火) 第1回正副会長監事会
- 6月20日(金) 同窓会報第33号発行
- 7月18日(金) 十年会第2回準備会
- 8月15日(金) 第55回十年会
(高10回、高20回、高30回、高40回、高50回)
- 11月20日(木) 第2回正副会長監事会
- 12月17日(木) 第3回正副会長監事会
- 2月12日(木) 第4回正副会長監事会
- 2月17日(火) 常任理事会
- 2月27日(金) 同窓会入会式
- 平成20年度各支部総会等報告**
- 6月25日(水) 県庁紫塚同窓会総会
ニューみくら
- 6月28日(土) 紫塚同窓会矢板支部総会
矢板イースタンホテル
- 7月11日(金) 紫塚同窓会東京会役員・幹事会
品川プリンスホテル
- 10月19日(日) 紫塚同窓会ゴルフ大会会長杯
那須野ヶ原カントリークラブ
- 10月25日(土) 近畿紫塚会総会
帝国ホテル大阪
- 11月7日(金) 紫塚同窓会東京会総会
グランドプリンスホテル赤坂
- 11月8日(土) 小川地区紫塚同窓会総会
みづ乃
- 3月24日(火) 宇都宮紫塚同窓会総会
ホテル丸治

平成20年度紫塚同窓会特別会計(基金)決算報告

項目	金額
収入額	21,340,089
支出額	0
残額	21,340,089

収入の部

項目	金額	備考
前年度からの繰越	21,272,806	
基金積立	0	
雑収入	67,283	預金利息
合計	21,340,089	

医療法人 大田原厚生会

室井病院

理事長 室井尚武
 院長 室井秀太(高44回)
 理事 室井宏文(高48回)

〒324-0042 栃木県大田原市末広1丁目2番5号
 TEL 0287-23-6622
 FAX 0287-23-7825

NASU

株式会社 NASU設計

代表取締役 篠崎勝則(高14回)

本社 〒324-0005

栃木県大田原市練貫364番地67

TEL. 0287-23-7861

FAX. 0287-23-7819

E-mail nasuarc@gaea.ocn.ne.jp

各種印刷

飯村印刷

飯村 忠雄(中42回)
 飯村 通(高28回)

TEL 0287-22-2016(代)
 FAX 0287-23-4055

第55回十年会

十年会報告

田村 修也(高一〇回)

第55回紫塚同窓会十年会は二回の準備会を経て、平成二十年八月十五日大田原市内「いわいや」で開催された。我々高校一〇回生には卒業以来五十年、第五回目最後の十年会。出席者は全体会二十二名、同期会二十四名。ちなみに案内発送数は一四六通であった。最遠は奈良の八木沢君、最近はずすやの鈴木君。定刻となり全体会が始まる。司会担当は四〇回生。まず車田同窓会長の挨拶。普通は三年間で卒業するが中には四年いた人も・には苦笑。「質素堅実」を校訓として掲げた尾河初代校長に言及。続いて藤田校長からは現役の国公立大学入学者は宇高を抜いて一番、文武両道で実力発揮と現状の報告。乾杯発声は斎藤典男君。五十年で最後は一抹のさびしさがあるがと、大高と参会者の益々の発展を祈念しての詞で一同乾杯。

懇親会は、一同夢と希望に燃え、若く遅しかつた大高時代に戻り、時の過ぎるのを忘れて話しに花を咲かせた。校歌斉唱では先ず先輩方に敬意を表して「旭光あまねき」を、続いて「若き生命の」を、一〇回生全

員壇上に勢揃いして声高らかに歌う。私も五十年ぶりに朝礼の時宜しく指揮を執ってしまった。最後は十年会毎に記念写真を撮り閉会。

年次会はすぐ近くの「麗」。居心地の良い店を独占して、近況報告あり、歌ありで楽しむ。長嶋晟一君から「同級生のこんな顔を見たい」という提案があり、一同賛成となり地元の理事に段取りを一任。

八時の電車に乗る方々がいるので中締めはしたものの、その後何時まで饗宴が続いたものか。卒業後半世紀に相応しい記念となる十年会であった。

この開催にあたって、大高の担当の諸先生方と地元の鈴木輝夫君と郡司隆君には大変お世話になったことを厚く感謝したい。



初めて参加した十年会

伊藤 克夫(高二〇回)

卒業して四回目の十年会でした。前から十年会があるのは知っていましたが、行っていいものかどうか迷っていましたが、通知文の世話人の中に知っている名前をたくさん発見したのと高校時代一緒に通学したり、良く話をしたりした名前、中学校の同級生の名前を発見し出席しようと思った。もちろん大変お世話になった高校ですし、もうすぐ定年ということもありました。

全体会には三十名が参加しました。恩師の小針一虎先生、荒川捷彦先生、川原富士男先生のご出席をいただきました。先生方は当時と変わらなく、いろいろとお話することができました。私自身は、十名ほど分かりましたがなかなか分からない同期生が多くおりました。

全体会は、車田同窓会長さんのご挨拶に始まり、最後は校歌斉唱がありました。昭和十二年の葛原しげる作詞の校歌が最初歌われ、次に昭和二十四年以降の泉澤太郎作詞の校歌が歌われました。どちらもすばらしい詩であり感激しました。

同期会には恩師の荒川捷彦先生も駆けつけてくださり、同期生三十七名で田中屋で集まりをもちことができました。その後

場所を移して三次会があり楽しい一時を過ごすことができました。この同期会をまとめてくださった幹事の皆様に感謝申し上げます。最後になりますが、十年会に参加して分かったことは私たちにとっては、次の十年会が最後だそうですので、六十九歳のときの十年会には多くの皆様の参加を楽しみにしています。

「知命」目前

村山 二郎(高三〇回)

平成二十年八月十五日は、北京オリンピックの中日でした。柔道の最終日、男子百超級で石井が金、女子七十八超級で塚田が銀を取り、不振の日本柔道が最後に息を吹き返してくれた日です。

我々もこの日は十年会で久々に知己と会い、少し息を吹き返すことができました。全体会の後、高校三〇回同期会を開き、河又恭一先生、青木信夫先生をお招きして、三十四名が参加しました。両先生とも大変お元気で、その場で教壇にお立ちになれば、我々も「学に志した」頃に戻れるような、昔のままの御様子です。御挨拶を拝聴していると、叱咤激励された高校時代がありありと思ひ出されました。両先生とも忙しい中、我々の十年会に出席していただき、本当にありがとうございました。集まった

同級生たちは、杯を酌み交わしながら、互いの近況を報告し合い、その頃あの頃の思い出話に花を咲かせて、定番どおりの同窓会となりました。我々も既に「知命」目前ですが、生き方を悟ったかのような者もいれば、諦めずに夢を追いつけている者もいて、まさに人生いろいろです。ただ、その名のとおり、皆それぞれの場で自分のミッシェンをよく分かっているようでした。

また、この場では、同窓会の基盤を一層強化するために、新たな理事として、川島充也君、黒尾誠君、滝沢昌弘君に加わっていただくことが認められました。同級生への連絡や母校への支援など、同窓会の発展に尽力していただく力強いサポーターが増えたことは喜ばしいことです。よろしくお願ひします。

結びに、このような機会を用意してくださった、大田原高校同窓会に深く感謝いたします。特に同窓会係の先生方には、いろいろとお世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

◇ お詫びと訂正

高十回は、十年後が最後の十年会になります。誤情報をお詫び訂正いたします。本文は敢えて原文のまま掲載しました。ご理解下さい。(会報担当 増淵)

二回目の十年会

池田 利広(高四〇回)
平成二十年八月十五日、市内の「いわいや」にて、第五十五回の紫塚同窓会十年会が盛大に開催された。

我が年次は、全体会に八名、同期会に十三名が出席した。他の年次の参加人数に比べると、幾分の寂しさを感じたが、最後まで大いに盛り上がる事ができた。

恩師からは小針先生、富川先生、村山先生がご出席され、思い出話に花が咲いた。特に村山先生には、御自分も十年会(高三〇回)に参加されているにもかかわらず、我が同期会に遅くまでお付き合いたい。心より感謝申し上げます。

恩師や同級生とお酒を酌み交わしていくうちに、「こころ」が二十年前の大高時代に戻ったかのような感覚を覚えた。先生方や同級生が当時の呼称で呼び合い、サツカーを熱く語る村山先生がいらつしやり、寒稽古や強歩、部活動の話題になるなどすっかり高校生気分になったのである。ところが、十年前の同期会と違って、髪の毛の寂しい同級生、体にやけに気を遣い煙草をやめた同級生、自分の家族の話をする温かい眼差しのお父さん同級生達を見ると、ふと現実に戻ってしまった。

本当に楽しい一時であった。宴の終わりに十年後の再会を固く約束し散会した。

十年会に参加して

蜂巣 旭(高五〇回)

卒業から十年。八月十五日に毎年開催される十年会に初めて参加した。同期の友人や先生方と久しぶりに会うことが出来た。それが目的で参加したのだが、同期会では得られない(思わぬ)出会いや機会を得ることができた。

まず十年会では、十年単位での同窓メンバーが出席する。多くの先輩から話しかけられ、世代を越えた交流が出来た。そして、その縁で先輩とその後の三次会にて合流。楽しい時間が過ぎた。それだけで終わらず、その先輩から同窓の先輩で国際基督教大学の鈴木典比古学長を紹介頂いた。私は現在、大学院の博士課程に在籍しており、専門も近い鈴木学長から学長室で伺ったお話は、大変貴重であり、感銘を受けた。

十年会では、紫塚同窓東京会の大島会長と話すこともでき、在京の私に赤坂プリンスで行われる東京会へご招待いただいた。また、「旧湯津上村」とご実家が近い先輩方とお会いすることができ、東京にも関わらずローカルな話で盛り上がり同時に、首都圏にて大いに活躍させてい

る先輩方の存在に強く励まされた。また、出席されていた千保大田原市長とも楽しく話すことができた。千保先輩のバイタリティーやエネルギーに清々しさを感じた。

十年に一度、そしてその一日で数時間の貴重な機会。もし十年会に参加できなかったら得られなかった素敵な縁を今後も大切にしていきたい。私は次の十年会も必ず参加したいと思う。

同窓の皆様、気負わず気軽に十年会に参加しようではありませんか。私のように同期や先生方との久しぶりの再会を楽しみつつ、世代を越えた諸先輩との思わぬご縁が得られることを、信じてやみません。

十年会該当年次について(まとめ)

副会長 篠崎勝則(高14回)

◆卒業後10年目が最初、60年目が最終回としてきた。

Table with 8 columns: 平成, 回, 60年目, 50, 40, 30, 20, 10. Rows 17-21.

◆戦中戦後の学制改革等を考慮し上記の通り開催。平成20年度の第55回十年会は、高10回が最高学年となり、「最後の…」との誤った情報が流れた。

◆来年度以降の該当年次

Table with 8 columns: 22年, 57回, 中44, 高2, 高12, 高22, 高32, 高42, 高52. Rows 22-31.

NISHIDA 西田整形外科医院
整形外科・リハビリテーション科
整形外科専門医
院長 西田 三郎 (高30回)
大田原女子高校そば
〒324-0053
栃木県大田原市元町1丁目9-18
TEL 0287-20-3100

◇ニュース
昨年の夏、母校PTAが永年の活動が評価され、「文部科学大臣表彰」を受けました。誠にめでたうございます。

野崎皮膚科
野崎 重之 (高30回)
〒324-0042
大田原市末広3-3004-2
TEL 0287 (24) 6136

ExxonMobil エクソンモービル代理店
(有)吉田屋商店
代表取締役 森 英夫 (高30回)
那須塩原市西栄町1-8 本社 36-0013 ICSS 36-4661
電話 (西那須野) 0287 国道SS 36-0817 BPSS 36-1493

支部だより

紫塚同窓東京会

副会長 田代隆行(高一四回)
 四十年振りに友人に逢った。在学時の想いが走馬灯のようにまた会おう。東京総会での出会いだ。会員同士が年一度会す機会づくりも同窓会の努め。東京会は、名簿登録一千九百五十名の会員に会長以下副会長十八名、常任理事四十九名、各学年理事九十九名で構成。年間イベント計画に沿って各役員が関る。定例の役員会では、毎年発行会報「むらさき」に名刺広告掲載への賛同を得て、結果異業種交流会やゴルフ同好会の活性化に寄与。各会合や恒例ゴルフへの企画から参加する事で会員相互の

繋がりや絆が深まる。昨秋の第五六回総会・懇親会は百十七名の参加を数え、ご講演を頂戴した埼玉医大客員教授の永田一郎先生の講話は、平素聞けない内容も含め興味津々でした。また総会には本部車田会長、藤田学校長、藤田先生、大田原千保市長並びに増淵、篠崎本部副会長、宇都宮会平山副会長の臨席、千草会東京山本支部長ほか多数ご参加を頂き、誠に有り難く活動への励みになる。一方総会の時間内では、ここに掲載の記念写真を作成、お持ち帰り頂き好評を得た。大高校歌合唱で総会は盛會に閉じたが、初参加の方には当会活用ホームページ(http://www.murasakiduka.com/kain.htm)情報や十年会の参加者が増

え嬉しさ倍増です。将来課題は一人でも多くの会員へ周知とフォローが、我々の役割と考える。



平成21年度 紫塚同窓東京会 主要年間スケジュール

21年・22年	行事	場所	備考
5月14日(木)	第15回紫塚同窓東京会・ゴルフ同好会 ゴルフ大会	千葉夷隅 ゴルフクラブ	24名募集
5月16日(土)	本部同窓会総会/栄典者祝賀会	大田原 岩井屋	
7月17日(金)	紫塚同窓東京会役員会	品川プリンスホテル	50名
8月22日(土)	会報9号最終打ち合わせ 納涼異業種交流会	事務局 銀座	担当者 担当と若手会
10月18日(日)	第8回紫塚GFクラブゴルフ大会 (個人会長杯、地区別団体戦)	大田原	170名
11月6日(金)	紫塚東京同窓会総会・懇親会 異業種交流会・講演会	グランドプリンスホテル赤坂	170名
12月、1月	役員忘年会又は新年会(今年度反省会)		10名
3月13日(土)	東京会常任理事会(22年度活動計画)	品川プリンスホテル	25名

近畿紫塚会

会長 八木沢武雄(高一〇回)
 今年のエポック 三件
 その一

大阪天神祭り 船渡御への参加
 七月二十五日 大阪の一番熱いと言われる日に行われた行事
 菅原道真公を祀る行事で、ク
 ライマックスが船渡御である。
 一七回卒 中山幸蔵君のご尽力
 にて、加藤、八木沢、坂和、小
 山田が乗船。周りには数十艘の
 舟が順序よく出ていく、それぞ
 れの舟の甲板には二〇〇名位の
 人々が乗っており、舟が行き交
 う度に発せられる「大阪締め」
 が新鮮に聞こえる。「講」に入っ
 ている商店の女将さんたちが接

待係りとなってビールやつまみをどんどん運んで来る。涼しい風に当り酔いながら語らううちにいつの間にか暗くなって、用意された打ち上げ火花が夜を染めていく。

近畿紫塚会 千草会近畿支部合同同窓会
 日時 十月二十五日
 場所 帝国ホテル大阪
 場所は七月二十五日の船渡御の際、ホテルの前の川を往來したのである。八重桜の名所の「通り抜け」に近く、建立してから十年位だろうか？真新しい。

紫塚会本部より車田会長、増淵副会長、加藤監事、大高より藤田校長、藤田教諭、千草会より川上会長、大田原女子高校より洪井校長、古矢教諭を迎えて合同同窓会を開催することができました。近畿紫塚会より十名、千草会近畿支部より六名学生二名の総勢二十六名となった。同窓会の中で歴史が一番古い会に相応しいものにしたという思いがよぎる。
 車田会長はじめ川上会長の挨拶を聞き、和やかな雰囲気の中にも質素堅実の精神が滲み出て、お二方の話は話題性があり若さを感じます。
 高校では栃木県の中では国立大学合格者が一番多かったとの事、「八十五K強歩」実施を経

紫塚同窓東京会

会長 大島 栄 寿 (高6回)

平成21年度の総会は、11月6日午後6時グランドプリンスホテル赤坂(旧赤坂プリンスホテル)で開催します。

事務局長 猪 股 秀 章 (高21回)
 電話 03-3586-5586
 F A X 03-3583-0583

猪股司法書士事務所

司法書士 猪 股 秀 章

(高21回)

紫塚同窓東京会事務局長

〒106-0042
 東京都港区麻布狸穴町44番地 電話 03-3583-8657
 狸穴マンション1001号 F A X 03-3583-0583



宇都宮紫塚同窓会

大武 秋雄(高一八回)
二十一年三月二十四日宇都宮市内・ホテル丸治において二十一年総会を開催いたしました。年度末の時期と重なり、参加者は三十名でした。ご来賓には藤田大高教頭先生、本部同窓会増測副会長様、紫塚同窓東京会阿久津様にご臨席をいただきました。

今年はず算・決算の議事に加え役員改選が行われました。ほとんどの役員は再任で、会長に青木勲(三二年卒)、副会長に飯田久(二六年卒)、笹沼取(三二年卒)、平山忠勝(三二年卒)、田村修也(三三年卒)、山田博由(三三年卒)、小出昭夫(三七年卒)、大武秋雄(四一年卒)、監事に辻野常男(三二年卒)、江口弘道(三四年卒)が選任されました。

総会後の懇親会では、一年ぶりに旧交を温め合い、談笑の中心を約して散会となりました。

紫塚同窓会小川支部

森島 政清(高二四回)
当支部は、那珂川町小川(旧小川町)在住の旧制大田原中学校、大田原高校同窓生で構成されています。支部ができて六十年、毎年十一月の第二土曜日に開催しております。平成二十年

度総会は紫塚同窓会副会長小林惺先生、母校恩師古澤實先生

以上を通り各種イベントを開催し、一人でも同級生の参加を促していきたいと思っております。



(小川在住)をお迎えして、十一月八日(土)那珂川町小川の料亭みづ乃で開催いたしました。副支部長国安隆夫氏(高七回)の司会により開始され、まず支部長森嶋信二氏(高一四回)の挨拶があり、その中で前支部長星久昭氏(中三八回、平成十九年十二月逝去)に対し追悼の念が述べられました。又、当支部会員の森島堅二氏(高二二回)の県立宇都宮中央女子高校長就任、佐藤佳正氏(高二四回)の那珂川町副町長就任に対して、お祝いと激励が述べられました。続いて、当支部規定にある八十歳の長寿を保ち、当会の発展に尽力した会員の表彰となり、玉川龍氏(中三九回)に支部長より賀辞と記念品が贈られました。又、平成二十年春に瑞宝小綬章を受章された古澤實先生に支部長より賀辞と記念品が贈られました。

次に毎回ご出席いただいている小林 惺先生より母校の様子などを交えたご祝辞、古澤實先生より那珂川町合唱団によるペーベン第九の発表会での活躍の様子などを交えたご祝辞をいただきました。その後議事も無事終了し、和やかな懇親会となりました。

尚、本年四月より森島堅二氏が母校の校長に就任されたことは、当支部の大変な誇りと喜びであります。「質素堅実」の校風のもと、母校の益々の発展を期待しております。

第74回総会
近畿紫塚会
平成21年度総会は10月24日
会長 八木沢 武雄(高10回)
連絡先 〒639-1013
奈良県大和郡山市朝日町1-54
大和郡山アーバンコンフォート414号
事務局 坂 和 恒 夫 (高11回)
TEL 0743-54-1526

宇都宮紫塚同窓会
会長 青木 勲 (高9回)
事務局 〒320-0833
宇都宮市不動前1-3-14
北関東総合警備保障(株)内
TEL 028-639-0308
FAX 028-638-8396

ALSOX
ホームセキュリティ7
北関東総合警備保障
代表取締役社長 青木 勲 (高9回)
本社：宇都宮市不動前1-3-14
TEL：028-639-0301

自動車整備機器、工具、機械工具専門商社
株式会社 ダイイチ
代表取締役 今泉 薫 (高20回)
本社 東京都大田区久が原2丁目20番1号
〒146-0085 TEL03(3752)7111・FAX03(3752)7110
Web site: <http://www.daiichi-tokyo.com>

同期会・クラス会①

傘寿の随想

大久保 博(中四一回)

昭和十七年四月あこがれの大田原中学校に入学。当時中学校は五年間、上級生には敬礼をしなればならず、それを怠ると呼び出され、「びんた」の二、三回は叩かれる。先生には直立不動で挙手。

然し一年が過ぎると下級生が出来る。今度は敬礼をされる側に立つ。制裁を下す者は少数で大部分の者は、我が身をつねって人の痛さを知る人である。昔、学校に通う時はゲートルを巻き、高下駄をはき、三角手拭を腰にぶらさげてカーキ色の四角い鞆をしょって、今にして思えば異様な立ちである。三年生位までは黒い帽子に白線をまき、わざわざてつぺんを切り開き、そこをミシンでぎざぎざに縫い、その上に靴ずみをぬる。それがなんともいえないファッションモードだったのである。

昭和十九年、二十年と本格的な戦闘状態に入り、帽子も戦闘帽に変わり、防空頭巾を掲げ、胸に名前及び血液型を表示したものである。

昭和二十年二月五日、ついに学徒通年動員により川崎の富士

電機工場に勤務する事になり、軍需品を作らされたが、その中で完成したものはなく、ほとんどがお釈迦(不出来品)であった。こんな事では戦争に勝てるわけがないと心の中では思っていたが、口に出す事は絶対に許されなかった。

ついに四月十五日、川崎は焼夷弾空襲によって火の海と化し、無惨にも焼野が原となったのである。あの時の思い出を忘れないように昭和四十二年より毎年四月十五日には必ず同級会を開いている。語呂合わせで(よい

子の集い)と名打って、質素堅実をモットーに今年迄四十二回の長きにわたり続けている。今年これが最後の同級会として、

那須のエピナールで開催、エピナールの会員である鈴木一平君の配慮で、二十名が楽しいひと時を過ごした。大中四十一・四十二回卒は今年八十歳。

旧大中で体操の教師であった小池元久先生(私達の恩師の生存者は小池先生のみになった。先生はアンちゃんの名で親しまれていた)を招待した。

今後は「気が合った者が呼び掛け合い、何人かで集まればよいな」などと話し合った。

竜北会の絆は強い

飯田 久(高三一回)

竜北山から名称を頂いた竜北会は、今年目出度くも喜寿を迎える事が出来ました。終戦の年(昭和二十年)に入学した三三〇名余の私達は、食べる物もなく、学ぶための教材もなく、勤労奉仕に明け暮れる混乱期の中で、中学三年高校三年通算して六年の永い間、只ひたすらに質素堅実・質実剛健をモットーとして文武両道に励んで参りました。お陰で高三回卒は特に多くの実績を挙げて誇れる年代だと自負して居るのは私だけではないと思います。

特筆すれば故高瀬一重県議、運実進代議士、車田孝夫同窓会

長、藤原林次郎県信連会長、平山健太郎NHK解説委員、故岡山尚正全日本社会人野球投手、荒井政義大田原市助役、藤本三久矢板市助役、熊久保勲夫サファリーパーク社長など有名人の他、多くの医師、教授、教員、会計士、僧侶を輩出して居ります。又大高への寄付金や教育資金の拠出等貢献し、高い評価を受けている所です。

大高を巣立って六十年は正に光陰矢の如しでアツト云う間に過ぎ、振り返ると多くの物故者を数え七十五名にも達しました。これまで毎年一回の同期会を実施して旧交を暖め、安否確認を行って来ましたが、今回は四年のブランクを経て久し振りに、且つ高齢化によって最後となるかも知れない納めの同期会として、去る四月一日鬼怒川のニュー岡部に設営し、仲間達の参加を募った所、元気者五十五名が出席して呉れました。ビール五十本、酒百二十本、焼酎四本と驚く程飲み干し、昔話に花を咲かせ、二次会ではカラオケも加わり、本当に楽しく賑やかに盛り上がりました。中に医者や二人居りましたから、安心して破目を外したのです。

宴会は延々と約3時間続きましたが6年間築き上げて来た絆は益々強くなったと思います。最後は旭光あまねくの校歌を合唱し八十才に再度この同期会が開かれる様約束して会を閉じま

岳麓庵で毎月定例

瀬尾 紀夫(高二〇回)

今年還暦を迎える、我々、昭和42年度卒業(今や伝説となつている年度とか)は同級会会員に長男が多く、地元に残ったこともあり、当時の生徒会長小滝正人君を中心に、大田原、西那須野、黒磯地区と持ち回りで年に数回、同級会を開催し、県外からの参加も含め、常時二十名以上が集まる等、活動は盛況を呈しております。また、黒磯地区では大柿陽一君の建築設計事務所が打ち合わせ場所となっておりましたが、これに塩原の建築業を営む君島建次君が囲炉裏をこしらえ、那須岳の麓の庵という事で、「岳麓庵」と名付け、毎月、「定例会」を開催し



旧大田原中学校41~42回卒 八十才を迎えての親睦会

ております。ここには、各地区や、東京からの飛び入り参加者も加えて、夜な夜な、親交を深めている状況です。四年前に大柿君がTVチャンピオンとなり、有名になった「岳麓庵」もここが元祖です。一年間の行事の一部を紹介すると、先ずは冬山のトレッキング、春の解禁と同時の溪流釣り、山菜取り、夏の茸取り、秋の紅葉登山、新蕎麦打ち等と那須の自然を十分に満喫した内容になっております。終われば当日の反省会が開かれ、酒と手作りの料理で深夜まで意見が飛び交い、終わることがありません。参考に、写真にある本日の料理を紹介すると、午前中に那須山麓で釣り上げたばかりの岩魚と現地で取れた天然椎茸とタラの芽と筍の天ぷら、さらにアイソの山椒味噌、筍ニシ



ン、ウインナーの薫製と季節の旬のものが中心の献立です。当然のことながら、酒は池島君提供の「質素堅実」です。同窓会の際には是非とも池島酒造の「質素堅実」のご利用をお薦めします。

第二の人生が間近に迫っておりますが、高校時代の気持ちをもち続け、友人として、未永く、このような同級会の集まりだけは続けたいと思っております。私の子は残念ながら、娘ばかりで、母校には縁がありませんでしたが、社員の子が高高に入りましたが、卒業後も私たちのようなかけがえのない友との和を続けることを願っております。最後に、同窓会の発展と皆様のご健勝を念願して、近況の報告とさせていただきます。

白岡紫塚・千草会

長谷川利夫(高一九回)

埼玉県の白岡町に新しく大田原高等学校「紫塚会」と大田原女子高等学校「千草会」の両会を併せた白岡紫塚・千草会を五年前に結成致しました。会員は27名(紫塚・15名・千草・7名)で毎年総会を開催し、「大田原を偲び遠くから大田原を支えよう」を合言葉に運営しています。会長には、高一二回卒の大金益三氏が就任。特定郵便局長の小生が会の事務局幹事を行っています。

当支部には、高一回卒の倉田正雄氏や大女高二四年卒の人見節子氏が相談役として会のためにご尽力いただいています。一昨年の県議会議員選挙では、高二三回卒の岡重夫氏が名だたる地元有力現職議員を僅差で破り初当選を果たしました。その時も全員が影に日向に動き回りました。

最近、天気予報に「大田原」の地名が出ることに喜び。NHKの番組で金丸原の「那須神社」や「大女高の弓道部」が放映されて喜ぶなど大田原が誇らしかったり、驚いたり話は尽きません。遠く埼玉の地に那須の原が植えられた紫塚や千草会の本の苗が着実に育っています。「大田原」をいつまでも愛し誇りを持って同窓のよしみを大切にしていきたいと思っております。



医療法人 博友会
原眼科医院
 HARA EYE CLINIC
 院長 原 裕 (高20回)
 〒324-0042
 大田原市末広1丁目5番27号
 (大田原市農協ヨコ)
 TEL 0287 (24) 0011

ソウマ労務管理事務所
 社会保険労務士
 相馬 誠一 (商3回)
 〒101-0063
 千代田区神田淡路町2-13-4
 セントラル御茶ノ水ビル
 TEL 03-3251-5141

寿司・幕の内・割烹仕出し
 有限会社 **まえむろ**
 代表取締役 渡辺 繁治 (高19回)
 TEL 0287 (22) 6849

郷土の発展と共に、一世紀 since 1884
 総合建設業
那須土木株式会社
 那須土木株式会社一級建築士事務所
 本社/栃木県大田原市中央1丁目13番10号
 TEL 0287 (23) 5678/FAX 0287 (23) 0355
 URL http://www.nasudokk.co.jp
 代表取締役 玉木 茂 (高20回)
 取締役総務部長 宇山 洋 (高19回)
 総務課長 桑 一久 (高37回)
 総務課主任 郡 司 (高45回)
 住宅事業部住宅建築課主任 矢吹 博 (高46回)

那須の美酒
質素 堅実
池島酒造株式会社
 代表取締役
 池嶋 英 哲 (高20回)
 池嶋 佑 介 (高52回)
 〒324-0036
 大田原市下石上1227
 TEL 0287 (29) 0011

同期会・クラス会②

U字工事も同級生

松山 純磨(高四九回)
我々、高四九回(平成九年卒)は、一昨年の夏、初めての十年会に参加した。正直、役員の方不足もあったため、少数精鋭の参加であったが、恩師や同級生と楽しい時間が過ごせた。

実際に、仕事の都合で参加できなかった同級生も沢山いたことは事実で、その中に最近テレビ等で活躍している漫才コンビ「U字工事」の二人もいた。彼ら(福田薫・益子卓郎)とは三年間同じクラスで、今も親交のある同級生だが、こんなにも売れるとは思っていなかった。当時は、昼休みや大高祭で漫才をやっていたが、お世辞にも面白いとは言えなかったし、芸能人になるなんて誰一人思わなかっただろう。

「...あと一步の努力!」このフレーズ、きつと我々の学年は、今でも心に残っていることでしょう。当時の校長、小林惺先生の名言です。まさに、あと一步の努力の成果が、現在の彼らの活躍だと思ふ。同窓生の皆さん、高四九回とU字工事のことを応援してください。我々も一步一歩力をつけて、やがて同窓会を中心となって盛り上げていければと思ふ。

三九会

加藤 利勝(高十六回)
これまで東京での会合が主であったが、昨年十一月十五日、大田原市内「荒喜屋」で地元開催。四十二人(写真)集まり氣勢を上げた。席上、三九会だから「毎年三月九日を定例日」にしようとの声が上がりが「田中屋」で再会。地元だけで四十二人集まった。



三九会

(さんきゅうかい)
(高16回)

昭和39年卒生の親睦会です。
皆様の参加をお待ちしています。
増淵忠行 電話 0287-24-0287
岡本之良 電話 048-442-4364

セイワ薬局

星 和明(高30回)

〒324-0042
大田原市末広2-8-27
TEL 0287(22)2628

株式会社 テクノ産業

代表取締役
秋間 忍(高16回)



〒325-0033
栃木県那須塩原市埼玉371-8
TEL 0287-62-6010
FAX 0287-62-8998
E-mail: techno@nasuinfo.or.jp
http://www.tecowl.co.jp

(株)田中建築事務所

専務取締役
阿久津 賢次(高16回)

本社
〒108-0074
東京都港区高輪2-16-45 高輪中山ビル
TEL 03-5420-2431 FAX 03-5420-2461

御菓子司

(有)伏見屋菓子店

伏見功一(高1回)
伏見雅志(高30回)

TEL 0287-23-2438
FAX 0287-24-2438

各種自動車販売・民間車検・石油類販売

(有)小浦モーターズ

小浦道夫(高27回)
小浦敏夫(高31回)

本社 大田原市佐久山2208番地
佐久山SS TEL 0287(28)0016
実取SS TEL 0287(28)0480
車検センター TEL 0287(36)5338

内科・小児科・循環器科

医療法人 金澤医院

金澤正邦(高15回)

〒325-0052
栃木県那須塩原市中央町1-8
TEL 0287(62)0029
FAX 0287(64)2590

宗教法人
大田山光真寺

住職 黒田俊雄(中40回)

〒324-0051 栃木県大田原市山の手2-11-14
TEL (0287)22-2033

葬祭式場 八州会館
総合葬祭 那須造花店

取締役専務 吉光寺政雄(高49回)

栃木県那須塩原市豊浦12-138
TEL 0287-63-6868

活躍する同窓生 園遊会に招かれて

鈴木典比古(高一六回)

四月十六日赤坂御苑で開かれた春の園遊会に招かれ、私と妻がかがいました。文部科学省が私を推薦し宮内庁から招待を受けました。当日は快晴で日差しの中では暑いほどでした。二千名近くの人たちが招かれたということでした。御苑内には広い池があり、その周りに散策道があります。招待客たちはその散策道に並んで、天皇陛下、皇后陛下をはじめ皇族方のお出ましをお待ちしました。皇族方が散策をそぞろ歩きされ、招待客たちとお話しになるとのことでした。池の北側にセリ上がり気味の広い芝生がありそこに大きなテントが設えられ、飲み物や軽食が供されていました。私達が会場に到着したころ、テントの回りの芝生はすでに大勢の人だかりでしたので、私達はその芝生やテントを池越しに遠くに望む南側に並びました。周りには民俗衣装を着た外国大使館員や諸団体の代表たちもいました。皇族方が会場に到着したことを知らせる皇宮警察音楽隊の君が代演奏があり天皇陛下をはじめ皇族方の姿が見えました。遙かに見えるテントのあたりに並ぶ人たちに天皇陛下をはじめ皇族方がゆつくりと話しかけられて

歩まれるのが見えました。よくテレビのニュースで流れる光景です。そのあたりには二〇〇八年度のノーベル賞受賞者である益川・小林両博士や指揮者の小沢征二氏、橋下大阪府知事、俳優の桃井かおりさん等がいるものと思われました。天皇陛下の歩みはゆつくりとしていて来客に丁寧な話しかけられている様子が遙かに見えましたが、やがて湾曲する池の散策道に沿って植えられた樹木の向こう側にみえなくなりました。やがて、宮内庁の職員や侍従の方たちが静かな声で皇族方があと五分ほどで私たちの前を通りになるという知らせを告げて私たちの前を通り過ぎました。私たちは緊張し、足が疲れていましたが、一時間十分以上もお歩きになり、招待客とお話しになる皇族方こそさぞお疲れであろうと妻と話しながらお待ちしました。そのうちに天皇陛下のお姿がすっとお出ましになり、それに皇后陛下、皇太子殿下、秋篠宮ご夫妻、常陸宮ご夫妻、高円宮妃が続かれました。そこに並んでいた招待客の幾人かと談笑され、やがて私たちの前に差し掛かりました。私は、天皇陛下は私の前を通り過ぎられるものと思い頭を下げました。しかし、天皇陛下は私の胸の前と肩書をご覧になつて数歩私に近づかれ、「国際基督教大学ですね」とおっしゃいました。私は緊張しながらも、

「はい、陛下。本日はお招きいただきましてありがとうございます」と申し上げました。それから私が学長を務める国際基督教大学の教養教育についてご質問をいただき、私も現在世界基準の教養教育を目指していることを申し上げました。そのあと、皇后陛下をはじめすべての皇族方が歩みを止めて私と私の妻に話しかけてくださいました。その間は数分のことであつたと思いますが、私は栃木県の黒磯の生まれで、五十年前も前に天皇陛下が皇太子殿下でおいでのところ、毎夏那須の御用邸にお出での時には黒磯町の小中高生が駅前大通りに整列してお出迎えしたことや、私の妻は最近国際基督教大学の外国人教員の奥さんたちと、終戦直後に皇太子殿下の英語教師であつたバイニング夫人の自叙伝を読み終わったことなどを申し上げました。皇后陛下と皇太子殿下からは日本の大学教育についてご質問をいただきました。皇族の皆様は今の大学教育について強い御関心をお持ちでした。国際化と少子化に対応して日本の大学教育を充実・向上させていかなくてはならないことを申し上げましたが、皆さん深く頷かれていたのが印象的でした。私たちが皇族の皆様とお話したのは数分間のことでしたが、あの赤坂御苑の新緑と青い空の下での体験はなにか空想の中のような感じがします。

大町商事株式会社

代表取締役

大町正郎(高16回)

〒104-0061

東京都中央区銀座8-10-15

大町ビル5F

TEL 03 (3571) 1737

FAX 03 (3571) 1736



那須の詩7

相澤弘邦木版画展

(高16回)

10/8(木)~10/13(火)

銀座OS画廊

中央区銀座8-10-15

OSビル1階にて

◇鈴木典比古氏のプロフィール
▽一橋大卒。米国インディアナ大留学。経営学博士。ワシントン州立大、イリノイ大助教授を経て国際基督教大学長▽経営科学文献賞受賞。大学評価委員長。

株式会社 山形屋 金属加工

YAMAGATAYA

代表取締役 加藤利勝(高16回)

〒324-0236

TEL:0287-59-0240

大田原市大輪110-1

FAX:0287-59-0241

「天地人博と本場米沢牛」
小野川温泉/ホテルの里 小野川温泉

登府屋旅館

代表取締役 遠藤章作(高16回)

(旧名 高梨)

〒993-0076 山形県米沢市小野川町2493

TEL 0238-32-2611 メール tofuya@tofuya.jp

FAX 0238-32-2613 URL www.tofuya.jp

鈴の宿

検索



紫塚GFクラブ 第七回ゴルフコンペに 参加して

近畿紫塚会 西岡 尊(高七回)
快晴微風、やや暖かいさわやかな秋晴れの下で紫塚GFゴルフコンペは行われた。速く関西から参じた私は、スタート前の練習グリーンに立ったとき直感的に「来て良かった」と思った。



一緒に参加した他の三人(四人は近畿紫塚会のゴルフ仲間)も同じような思いだったに違いない。八十人程の参加者は我々を除いて東京、宇都宮、地元各紫塚会の方々。何人か知っている人はいたが、多くは知らない間柄。皆自信ありそうに見えたが、それでも同じ郷土に生まれ、同じ学び舎に学んだ者同士の親しみが湧き、懐かしさがこみ上げてきて、コンペとはいえ和やかな雰囲気が出ていたからである。

四人の成績はそれぞれのほは実力通り。ペリア方式ハンデの影響もあって上位入賞者はいなかったが、みんな何がしかの賞をいただいた。楽しくプレーできた上に、表彰パーティーでは車田会長から「速く関西から参加してくれた」とねぎらう紹介をいただき、恐縮しながらも喜びが膨らんだ。

四人とは、近畿紫塚会会長八木沢さん、同事務局長の坂和さん、それに私、この三人はサラリーマン現役を退いた気ままな年金生活者。もう一人小山田さんは京都で税理士として活躍している。この四人は近畿紫塚会のベテランであるが、年に数回ゴルフで親睦を深めている。いずれ劣らぬゴルフ好きであるが、飛距離は抜群でも小技に難があるなどそれぞれ長短があり、いつでも終わってみれば似たり寄つたりのスコアになる。ちょうど良い切磋琢磨するゴルフ仲間なのだ。

ないと、四人は翌日もプレーすることにした。場所は蓬萊カントリ。月曜日なので、もしかして客は我々だけかもしれないと思いきや、当日栃木県のプロの大会があるなどと、週末並みの客。幸い前日と同じく天候に恵まれ楽しくプレーできたが、スコアのほうは皆散々だった。どのホールも難しかったこともあるが、二日連チャンの上、前夜の一、二次会がたたったのは明らかだ。実は、前日コンペの後、我々四人は大田原の「こめや」さんに泊まった。ここで大いに世話を焼いてくれた人がいたのである。紫塚同窓会の副会長増淵さんと坂和さんの同級友人で紫塚同窓会監事の後藤さん。二人の案内で先ずは近くの居酒屋に繰り出した。地元ならではの食べられないキノコ、野菜などの料理、地酒で盛り上がり、懐かしい話題に会話が弾んだ。すっかり出来上がったところで近くのカラオケバーに繰り出した。



スタート前の説明に聞き入る

熟年の数人の先客がいたが、こちらも負けずに知っている歌を連発した。翌日のゴルフのことも忘れて「大田原の夜」を晩まで満喫したのである。かくして楽しい充実したゴルフコンペ参加紀行になった。それはまた日ごろ遠くで思う故郷への帰省旅行でもあった。重ねてお世話になった方々に深く感謝申し上げます。

表彰式で挨拶する近畿紫塚会八木沢会長



きれいな写真は、

ミハル写真館

〒324-0051
大田原市山の手2-6-33
TEL0287(22) 2 5 6 6
(消防署前)

中国料理 応竜

田代 誠一 (高18回)
田代 尚之 (高47回)

大田原市城山2-2-12 (消防署近く)
☎0287-22-2801 (代) FAX 23-8383

エクソンモービル有限会社
代理店

(有)浅井 礦油

代表取締役 浅井 元
(高29回)

〒324-0057
栃木県大田原市住吉町1-14-20
TEL 0287 (23) 3 3 6 6 (代)

医療法人 阿久津整形外科

(リウマチ科・
リハビリテーション科)

院長 阿久津 政司 (高37回)

〒329-2727
栃木県那須塩原市永田町3-16
(西那須野駅前)
TEL 0287 (36) 3639(代)

有限会社
ミートショップかなざわ

代表取締役社長 金澤 駿一
(高11回)

〒325-0052
栃木県那須塩原市中央町2-24
TEL (0287) 63-4129
FAX (0287) 63-8161

片柳司法書士事務所

簡裁訴訟代理人 第206005号
大田原簡易裁判所 民事調停員
宇都宮地方裁判所 民事調停員
司法書士
片柳 洋 (高22回)

〒329-2711
栃木県那須塩原市石林224番地6
(大田原西那須野街道一本松ぼっぼ通り沿い)
TEL 0287-37-5500 FAX 0287-36-8672

(株)栃木県大田原自動車教習所

代表取締役 青木 孝夫
(高18回)

大田原市上奥沢382番地
TEL 0287-23-2348
FAX 0287-22-5776

(有)ナルミヤスポーツ

成宮 正人 (高44回)

大田原市中央2丁目16番地15号
TEL (0287) 23-6668
FAX (0287) 23-6437

なすしおばら整骨院

轟 秀夫 (高46回)

JR那須塩原駅西口駅前

〒329-3133
栃木県那須塩原市番掛1-2-8
電話・FAX 0287-65-1086

鎌田 医院

鎌田美樹雄 (高24回)

〒324-0035
大田原市薄葉2252
TEL 0287-29-2055

すきやき・しゃぶしゃぶ・とんかつ

岡 繁

大小宴会承ります (料理3,000より)

岡野 繁雄 (高23回)

大田原市山の手1-3-9
TEL 0287-22-2474
FAX 0287-22-2718



— ころと心のおつきあい —



総合葬祭 株式会社 山木屋

代表取締役 平山 正騎 (高36回)

- ◆本社: TEL 0287(36)0160 FAX 0287(36)1384
- 西那須野斎場/那須塩原市三島4-34-2
- 矢板斎場/矢板市東町1181-1
- 塩原斎場/那須塩原市関谷1113-1

三 森 医 院

三森 武夫
高梨 薫 (高34回)

栃木県那須塩原市宮町1-9
電話 0287 (62) 1095

DI 住んでよし心ゆたかな 大田原

— D I グループ —

(有)藤田材木店 株式会社 大一不動産

栃木県大田原市美原3丁目3266-1 TEL 0287 (22) 2617 代表取締役 藤田 昭彦 (高26回)	栃木県大田原市紫塚1丁目14-13 TEL 0287 (22) 5119 代表取締役 小坂橋 博 幸
--	--

蜂巢悟税理士事務所

税理士 蜂巢 悟 (高33回)

那須塩原市太夫塚2-199
TEL 0287-36-3355 (代)
FAX 0287-36-4547

◇ 広告ご提供の御礼
多くの方から御礼申し上げただ
き、心から御礼申し上げます。
会報作成の貴重な財源です。
告等のお問い合わせは、会報担
当まで。



横山リビング (黒磯本店)

代表取締役
横山 和市郎 (高24回)

〒325-0054
栃木県那須塩原市朝日町6-21
☎ 0287 (62) 0218



セレモニーホール あぶらや

有限会社 油屋 商店
吉川 恵 造 (高7回)
吉川 秀 之 (高34回)

〒324-0051 栃木県大田原市山の手1丁目1番22号
(本店) TEL 0287-22-2219 FAX 0287-23-7863
(ホール) TEL 0287-24-2411 FAX 0287-24-2412

平成20年度部活動実績

部名	大会名	参加者・種目・成績
陸上競技部	関東高等学校陸上競技大会(東京都)	渡辺 舜(3年) 走幅跳・4×400mR 福井 雅俊(3年) 5000m 郡司 優(3年) 400mH・4×400mR 佐々木 隆政(3年) 4×400mR 田代 祐一(3年) 棒高跳 下田 龍一郎(3年) 棒高跳 荒牧 良行(2年) 4×400mR 薄井 貴至(2年) 400m・4×400mR 荒井 真樹(2年) 4×400mR
	関東陸上競技選手権大会(茨城県)	福井 雅俊(3年) 1500m・5000m 人見 泰弘(3年) 1500m
	関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会(群馬県)	大崎 亮(2年) 1500m 薄井 貴至(2年) 400m 荒井 真樹(2年) 110mH 藤田 達也(2年) 5000m
	関東高等学校駅伝大会	大井川 岳(2年) 大崎 亮(2年) 猪瀬 洗樹(1年) 西村 俊亮(1年) 藤田 達也(2年) 神谷 龍之介(1年) 高野 寛(2年)
	ソフトテニス	関東高校ソフトテニス選手権大会(群馬県) 個人戦 古田土 勇太(3年) 平山 祐尚(3年) 森島 理(3年) 中井 健太(2年)
剣道部	関東高等学校剣道大会(神奈川県)	個人戦・団体戦 益子 竜一(3年) 団体戦 木澤 和昌(3年) 中川 雅博(3年) 原田 安啓(3年) 永岡 広紀(3年) 手塚 光太郎(3年) 増淵 快(2年)
	全国高等学校総合体育大会剣道大会(埼玉県)	個人戦 益子 竜一(3年)
柔道部	関東高等学校柔道大会(埼玉県)	団体戦 岡田 誠(3年) 川瀬 聖大(2年) 伊藤 廉太郎(2年) 山内 俊(2年) 稲村 直晃(3年) 本橋 慎太郎(2年) 田村 知大(2年)
	関東高等学校選抜相撲大会(栃木県)	団体戦・個人戦 岡田 誠(3年) 山内 俊(2年) 薄井 信和(1年) 村上 拓也(1年) 稲村 直晃(3年) 高宮 開(1年) 稲村 愛輝(1年) 個人戦 本橋 慎太郎(2年) 勝城 樹(1年) 井尾 純也(1年) 伊藤 廉太郎(2年) 阿久津 輝(1年)
水泳部	関東高等学校水泳競技大会(茨城県)	菊地 翔太(2年) 200m自由形・400m自由形 400mR・800mR・400mメドレーR 渡辺 雄太(1年) 400m自由形・1500m自由形 400mR・800mR・400mメドレーR 西川 俊太郎(3年) 櫻岡 悠介(3年) 鎌木 寛史(2年) 400mR・800mR 400mメドレーR 藤田 康介(1年) 400mR・800mR 小川 大地(2年) 川上 涼(2年) 小田戸 聡(1年) 富田 将也(1年) 400mメドレーR
	全国高等学校総合体育大会水泳競技大会	菊地 翔太(2年) 200m自由形・400m自由形
	国民体育大会(大分県)	菊地 翔太(2年) 800mリレー8位入賞
山岳部	全国高等学校総合体育大会登山大会(埼玉県)	伊藤 泰治(3年) 矢板 光(3年) 後藤 亮介(2年) 塩川 丞介(2年) 5位入賞
囲碁将棋	関東地区高等学校文化連盟将棋大会(横浜市)	清水 明(1年)

母校の近況
第24回85キロ強歩

今回の強歩は、五月二十一日(木)・二十二日(金)の両日に実施した。二日目の朝に若干雨が降ったものの、天候はおおむね良好で、今年の完歩率も過去二番目となる93・3%と高いものであった。

同窓会をはじめ多くの方々の御支援のもと、無事終了しましたことを感謝するとともに、ここに報告いたします。
例年通り、多くの同窓生・地元・保護者の医師、看護士さんの医療援助に大変助けられた。支援された医師から「事前準備と靴が良くなり、治療を受ける人が少なくなった」との感想があった。



平成二十年度寒稽古は平成二十一年一月十九日(月)〜二十三日(金)の五日間にわたって行われた。種目は柔道、剣道、弓道、耐寒マラソンに分かれており、早朝六時から始まる。今年も六四九名の生徒が参加した。三カ年皆勤者は一七名(四九・四%)で賞状とトロフィーが与えられた。最終日の一月二十三日には納会が行われ、保護者の協力により豚汁がふるまわれた。

平成二十年度寒稽古

将来の大高生にタッチ



大女高生も声援!



医療法人社団 亮仁会
那須中央病院

理事長 臼井 亮平(中38回)

〒324-0036 栃木県大田原市下石上1453番地
TEL 0287-29-2121 FAX 0287-29-2501
E-mail:nasuchuoh@mtg.biglobe.ne.jp



平成21年度大学入試 主要大学の合格者数

()内は過年度卒の内数

	H21	H20	H19		H21	H20	H19
東京	1	0	3(1)	早稲田	9(2)	18(2)	19(3)
京都	1(1)	1	3	慶応義塾	4(1)	5(1)	6(1)
東京工業	0	1	1	明治	21(1)	31(2)	23(3)
一橋	3	1	0	法政	17	17(1)	8(2)
大阪	1	1	0	立教	4	1	3
名古屋	1	3	0	上智	1	2	3
北海道	12	12(1)	9	中央	23	28	19
東北	3	2	3	東京理科	17	29(2)	22(2)
九州	0	0	1	青山学院	12	13	8(2)
筑波	2	6(1)	1	日本	45(1)	39	31(1)
千葉	6	14	10	専修	13	6	13(1)
横浜国立	1	1	2	芝浦工業	12(1)	14	9
東京外語	0	0	2	東京都	8(2)	6	5
東京農工	4	2	2	成蹊	3(1)	7(1)	3
金沢	1	1	3	東海	16	2	10
宇都宮	17(1)	14	19(2)	東洋	19	4	6(1)
埼玉	8	6	13	大東文化	4	2	6(1)
新潟	7(1)	1	8	駒	6	4	6
電気通信	1	1	2	国際医療福祉	17	18(1)	35
静岡	1	9	4	白鷗	10	5	13(1)
山形	3	7	13	帝京	4	11	11
茨城	8	5	4(1)	神奈川	11	20	14
首都大東京	1	7(1)	3	立	7	10(1)	2

平成二十一年度卒業式

平成二十一年三月二日(月)、平成二十一年度卒業式が、本校第一体育館において厳粛な中にも盛大に挙行された。藤田一夫校長より卒業生の佐藤一輝が代表として卒業証書を授与され、新たに二三七名が我が紫塚同窓会の会員として入会することとなった。

来賓祝辞の中で車田孝夫同窓会長は「いつまでも、質素堅実の校訓のもと、大田原高等学校で学んだことを糧として、自分を見失うことなく、自己実現の

ために、信念と勇気をもってこれからの人生を歩んで行って欲しい。」と饒の言葉を述べられた。

また、在校生の新生徒会長 益子哲志の「困難が待ち受けている時代ではあるがその困難に負けずに活躍してください。」との送辞の言葉をうけ、卒業生代表の磯野佑介が大田原高校で培った不屈の精神力で決して逃げ出さず乗り越え充実した人生を送って行くことを誓った。

新しく大田原高校を飛び立つた二三七名の後輩たちの卒業を心から祝福するとともに、今後ますますの精進と活躍を期待したい。

平成二十一年度入学式

平成二十一年度四月七日(火)、平成二十一年度第六四回入学式が挙行された。呼名に一人一人が応じた後の式辞で、森島堅二学校長は新入生二四〇名の入学を祝福し、自分自身の努力はもとより、小学校・中学校の先生方そして家族に支えられ見守られてきたことに思いをいたし、「感謝の心」を忘れないこと、

本校の歴史と伝統を踏まえながらも新しい校風づくりをする気概を持つこと、さらに橋本左内の「啓発録」から「稚心を去れ」を引用し、この言葉により自分を戒めつつ高校生活を送ること、そして校訓「質素堅実」のもと、

様々な活動に積極的に取り組み自分自身の新しい価値の創造を目指すことを説いた。

また、後藤伸一PTA会長は、慈愛に満ちた励ましの言葉で新入生を祝福した。

さらに、「入学生宣誓」では代表の加藤悠が、入学できた喜びと本校の学校生活に対する抱負を真摯に誓いあげた。

これからの新入生二四〇名の大高生活が、相互に切磋琢磨するなかで一人ひとりが大きく成長し、将来の飛躍を生むものになるよう見守ってゆきたい。

第107回創立記念式典 記念講演会

四月十七日金曜日、本校体育館において、第107回目となる創立記念式典が開かれた。雨後であったが、多くの来賓の方々や同窓生のご臨席のもと、盛大に行われた。森島校長、車田同窓会長、後藤PTA会長から、厳しくも温かく、そして大高の未来を見据えたご挨拶を賜り、厳肅な雰囲気の中に式典は終了した。

式典の後には、高十回卒で、(株)GINN(ジーブ)代表取締役CEOであり、シーエスアール(株)会長でもある、桑原裕氏を招き、記念講演が行われた。

桑原氏は本校卒業後、東京大学に進まれ、同大学大学院修了後、日立製作所中央研究所で顕著な活躍をされてきた。その後出版活動や企業、大学の要職を務めるなど幅広い分野で活躍されている。

氏は、「夢を持ってチャレンジしようー世界が舞台ー」と題し、「チャレンジ」、「夢」をキーワードにチャレンジをすることの大切さ、夢を持つことの必要性を、ご自身の話を交えながら話をされた。とくに、「不可能」という周囲の意見に向こうに回しての新幹線の高速度デザインや光によるコンピュータネットワーク開発に携わった氏

の話は非常に興味深いものであった。

また「困難な課題こそチャレンジのチャンス」という氏は、「チャレンジ」、「夢」という言葉だけでなく、成功するためには「人間力」が大切であること、人間力を磨いてほしいというメッセージが贈られた。信頼関係によって「釘のない世界の架け橋」になっておられる氏の言葉は、橋の写真とともに生徒たちには忘れられないものとなった。

世界を相手に活躍されている氏の、今後のいっそうの活躍を願ってやまない。



平成二十年度
財団法人

紫塚奨学団報告

本紫塚奨学団は、大正七年、多数の同窓生から寄付された財産一、八五〇円を基金として創設されました。事業の内容は、奨学資金の貸与と優良生徒の顕彰であり、基本財産が生み出す利子を主な事業資金とするものです。基本財産の充実については、創設後からの篤志寄付に加えて、昭和五七年度に迎えた学校創立八〇周年記念事業の主たる事業として取り上げられ、同窓会の熱心な協力をいただき飛躍的に増額されました。その後同窓会をはじめ多数の同窓生からのご寄付をいただいております。

平成一四年度からは、寄付金と返還金を貸与金に直接活用す

財団法人紫塚奨学団 平成20年度事業報告

1 事業の状況

(1) 奨学金の貸与

大学生 6名 月額 30,000円
新規採用者 2名 一括 500,000円

(2) 奨学団賞授与

① 顕彰者

・佐藤 一輝 進学先 東京大学 理科一類
② 3ヶ年皆勤者 65名に対して記念品を授与

2 寄付金に関する事項

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

・井上 成紀 様 (現評議員・高12回)	50,000円
・伴 弘毅 様 (現理事・高2回)	50,000円
・笠原 忠 様 (高19回・記念講演講師)	30,000円
・藤原林次郎 様	} (併設中1回) 300,000円
・戸村 貞夫 様	
・小高 益美 様	
・猪瀬 清 様	
・篠崎 勝則 様 (現評議員・高14回)	
・平成20年度卒業生	237,000円
・黒田 俊雄 様 (現理事・中40回)	50,000円
・玉木 茂徳 様 (現評議員・高20回)	100,000円
・大林 茂俊 様 (高23回)	50,000円
・藤田 一夫 様 (前理事長・前校長)	100,000円
・岡 計治 様 (前事務長)	30,000円
合計	1,027,000円

0287-22-2042
(大高 係教諭 川又)

郵便局振替口座 口座番号
0035014111356
口座名 財団法人紫塚奨学団

ることにより新規採用者を二名、貸与月額を三万円といたしました。しかしながら、財団の運営について再度の見直しを行った結果、次のような方針で運営していくことになりました。

① 寄付金を基本財産に繰り入れる。

② 平成二〇年度から当面の間は、新規採用者二名に対して、入学時に一括して五〇万円を貸与する。

同窓生の皆様には、従来より奨学団へのご支援をいただいておりますが、今後ともなお一層のご理解とご支援をいただければ幸いです。

若い会員から

近畿紫塚会に参加して

大阪大学大学院 修士二年
渡辺真也 (高五六回)

こんにちは！大阪大学の渡辺真也と申します。私は近畿紫塚会・千草会合同同窓会に大学一年から参加しております。普段お目にかかれない高級料理を囲み、同郷の偉大な先輩方とお話できるのが楽しみです。毎年参加しています。

毎所高校から校長先生と同窓会事務局の先生がお越しになり、故郷の近況や後輩たちの活躍についてのお話を聞き、とても懐かしくなります。さらに、その事務局の先生がこれまで五回と高校時代の担任の先生だったので、久々に再会でき、毎年感激しております。

また、本会で初めて出会った方々とも、実に様々なお話を楽しんでおります。また次回お会いできるのが本当に楽しみです。年に一度だけでなく、それ以外でもお会いできる機会があったらいいのに、とさえ思います。最後に、毎年同窓会にお招きいただく幹事の坂和様はじめ、いつも楽しく盛り上げてくださる皆様に、深く御礼を申し上げます。今後よろしくお願います。

(平成十六年卒・年次委員)

藤田山円光寺
住職 神島 仁誓 (高24回)
〒329-2755
那須塩原市西原町4-5
TEL 0287-36-0476
FAX 0287-36-2965

提言
常任理事、理事の見直しについて

紫塚同窓会総会において、母校創立一〇周年に向けて、名簿が整備発行されるに当たり、同窓会の活性化を図るため常任理事、理事の見直しが決議されました。

現在、同窓会事務局が把握している常任理事、理事は次のとおりです。確認のうえ、各年次とも常任理事の責任において次の事項について協議し、その結果を平成二十一年八月末日必着で事務局(大田原高校内)までご報告ください。

◇活性化にむけて各年次の常任理事、理事を見直し、変更、追加、補充等を行う。

◇各年次の常任理事のなかから代表者(代表常任理事)一名を選出する。

総務担当副会長
小林 惺

ISO-9001・ISO-14001 認証取得
O. A. P. E.
総合設備業
大橋総設工業株式会社
代表取締役 大橋 保 (高29回)
取締役会長 大橋 照 男 (中43回)
〒324-0057 栃木県大田原市吉吉町2丁目4番24号
TEL:0287-23-3100(代) FAX:0287-23-3102

いよいよは365日が大安吉日です
料亭 岩井屋
〒324-0056
大田原市中央2-13-1 ☎0287(22)2032(代)
代表取締役 青柳 能明 (高26回)

紫塚同窓会 常任理事・理事 名簿

平成21年5月16日現在
○は常任理事 □は理事

- 中21○阿久津三郎
- 中28○吉成孝一 金沢久衛
- 中29○大島 武
- 中30○関谷蔵太
- 中31○増淵五郎○課合 林
- 中32○手塚敏雄
- 中33○中村久也○田野 隆
- 中34○稲村定雄○中島勇平 蓮見金平 渡邊昌胤
- 中35○佐藤信夫 沢部 洸 中村稀一
- 中36○伊藤俊三 鈴木正雄 滝沢文一郎 藤森保雄○小林 勝 大宮司敏晴
- 中37○白井康博 君島東八郎 高久 満 渡辺令一○刈屋輝雄 熊田敏三
- 中38○白井亮平 高梨義彦○根本 博
- 中39○岡田 弘 松田具久○穴山和助 高藤 人 松本正雄
- 中40○黒田俊雄 長嶋 彬 生田目慶一○荒井光夫 井上純一郎 増田寿男
- 中41○大久保博○鈴木洋利
- 中42○飯島 修 飯村忠雄 蜂巣 栄○猪瀬定男 永森清道
- 中43○石川利夫 君島一夫
- 中44○神山誠一 高宮 寛
- 併中1 ○藤原林次郎
- 併中2 ○中村弘平
- 高1 ○相山大義 阿久津和司 渡辺教安○石丸恭信 竹田勝造 渡辺正二
- 高2 ○君島清太 三本木武 須田耕洋 高安謙吉 伴 弘毅○大賀正明 斎藤栄璋 鈴木 昭 鈴木久雄 滝田 仁 綱川秀人
- 高3 ○荒井政義 青柳 實 高橋 稔 蓮実 進○阿見晴彦 池田 稔 飯田 久 瀬尾憲司 田中高歳 松本昭雄
- 高4 ○印南昭彦 松丸光雄 菊池賢一 斎藤平三 小口英夫○鈴木新一 栗田 宏 佐藤 明 田辺安平
- 高5 ○大島孝喜 小山田昭一 福原勝美 藤田祐輔○相馬一男 宮 利男 高橋勇丞 青柳 學 関 和生 森 茂樹 渡辺 晉 小川勝巳
- 高6 ○古山 正 官沢祐三○田代 忠 前澤好博 桜岡 勉 植木満平 小宮英一 平山雅士 早川敏朗 阿久津隆 太田 仁
- 高7 ○稲村宗一 加藤清市 吉川恵造○荒井哲也 野田孝一 谷田部一雄 矢吹忠久 渡辺 源 佐藤秀夫 前島恒夫
- 高8 ○石塚勝勇 稲垣重弘 松本富生○斎藤俊勝 岡嶋秀男 新巻武三郎 太田正孝 藤森 守 長島之夫 飯沼悦男
- 高9 ○磯飛 勇 金子哲也○藤田三夫 池田博一 森 富保
- 高10○車田正信 郡司 隆 鈴木輝夫 田村修也○阿久津祐一 荒牧逸世 穴山洋典 田代彰彦 阿久津道夫 斎藤典男 中江千万紀
- 高11○小鍋 薫 蜂巣貞美○小泉宏志 大野 勇 菅井 勇 大出 博 相馬大蔵 古内 勲 小倉正敏
- 高12○奈良靖久 磯 誠 人見武彦○佐藤亮治 高柳和雄 吉田勝男
- 高13○新江昭高 清水 弘 関戸昭男 千保一夫 三村 稔 渡辺捷年○荒川捷彦 青木一男 河島弘文 松田 弘
- 高14○藤田宗平 菊池金郎○小野寺尚武 郡司祐之 野田征行 小林正勝 橋本忠明 斎藤 洋 赤羽興亜 池田達人
- 高15○松井正人 小倉正義○佐藤正一 冨塚 勝 須藤輝一 佐藤昌男 田代裕之 高宮達也 大場浩一
- 高16○阿久津賢治 岡本之良 桑原重徳 須田耕永○石沢一正 荒井盛男 加藤陸夫 植田 勝 藤田宏和 二宮英寿 秋間 忍 田代政勝
- 高17○折井正幸 藤田紀夫○大森茂樹 寺門 博 坂主 正 清水一郎 江崎鉄郎 手塚和美 君島則夫 高井左京 小泉正夫 豊田 充
- 高18○青木孝夫 吉成典雄 鈴木卓雄 瀬尾平久
- 高19○金子貞則 田代誠一 山口哲夫 渡邊正彦○藤田利夫 坂本 瞭 鈴木久雄 菊地道郎 岩橋光裕 及川 涉 田代 民 蜂巣耕平
- 高20○今泉 薫 後藤秀男 春原正三郎 玉木 茂○高塩富男 草野知明 瀬端道男 鈴木篤則 瀬尾紀夫
- 高21○猪股秀章 槐 一博 鈴木俊貴○高村直行 角田修一 大野千里 荒井功一 菅谷正男 渡辺 涉
- 高22○今井全志 片柳 洋 渡辺喜美○加藤英昭 永山 林 飯沼理伯 小池一徳 和泉卓哉 鈴木邦彦 塗茂哲治
- 高23○中西秀夫 岡野繁雄 小森和夫○越井二郎 篠崎廣一 滝川昌之 越井順一 洪井 壽 手塚和夫 室井光昭
- 高24○横 徳和 井上元二○横山和市郎 青木一男 玉木志志 鎌田美樹雄 坂和和夫矢板秀臣 佐藤正一 宮沢勝喜 池沢 聡 辺見賢一
- 高25○永山 肇 飯島秀人○井上 浩 岩上昌雄 日野了恵 松本光正 須藤清隆 黒崎博孝 人見 朗 八木沢操 佐藤義郎 八木沢精一
- 高26○青柳能明○高橋 昇 小山田敏夫 金沢公一 平沢欣一 真島正実 高田惣一 大和田智則 君島一郎 藤田昭彦
- 高27○本堂則光 君島 治 薄井 勝○清水義光 増淵道雄 坂上孝夫 桜岡 哲 佐々木卓也 竹田 昇 塚本康文 室井良信
- 高28○川上真澄 相馬憲一 石崎佳郎○大野正夫 原田光男 伴 弘文 印南雄士 桜井潤一郎 平山 仁 藤原崇夫 坂本禎之
- 高29○磯 英明○人見好宏 鈴木隆一 大洞博泰 古沢 稔 君島 仁 尾畑 宏 鈴木武夫 森本俊位
- 高30○加藤正樹○小野 忍 石崎金市 村山二郎 渡辺圭一 川島充也 滝沢昌弘 黒尾 誠
- 高31○黒田光泰 佐川浩一○高宮 大 高正弘 荻原秀幸 平山 仁 相馬英明 田中 誠
- 高32○森 明男 大金克彦 矢吹典久 唐橋正弘
- 高33○菊池貞浩 相馬達夫 郡司 聡 東郷重弘 佐藤文晃 神谷健二
- 高34○益子祐二 吉川秀之 伊沢正司 鈴木善明
- 高35○阿久津雅章 稲村竜一 渡辺和栄○小林敏泰 成澤規之 矢板桂丞 塚原三郎 石原則夫 津久井静男
- 高36○高山克良 新夕 薫 水品哲彦 松本正美○杉井 拳 斎藤幸夫 田中 誠
- 高37○松本一則 大島徳彦 澤田敬一 石塚隆一○刈生田浩一 栗田慎一 田中 誠
- 高38○中木 太 木村 智○益子隆一 荻原隆寿 細小路俊康 永田 聡 伊藤甲文 山勢太郎
- 高39○印南新一 菊地信行 佐藤健司 植 進 宮本一成○村上上行利 細川智彦 鈴木英彦 白井高士
- 高40○池田利広 高橋和幸 小林和久 菊池 修 稲村宣之○相馬和男 鈴木章浩 宮原一二 伊藤将孝 松村一紀
- 高41○乾 幸洋 渡邊見成 木村和夫 大金 勉 熊田祐一 中里晃雄 菊地正哉 山本賢治 高島秀樹
- 高42○内藤裕之 藤田雅一 松本直人 後藤 真 渡井記昭 佐藤哲也 手塚和美 監物弘記
- 高43○室越礼一 金子 章 斎藤淳一郎 宮本善夫
- 高44○殿生雄一 渡邊英憲 福田修久 古内誠二 石川佳広 増子政秀
- 高45○伊藤秀行 田島真義 上野純宏 小林敏人 印南秀樹 斎藤康弘 野上孝時
- 高46○鈴木茂夫 永元伸幸 手塚雄三 高野淑藏 増田貴博 猪股弘樹 平山 崇 鈴木英晶 深沢 誠 並木憲介 堀内大輔 桑野 純
- 高47○鈴木俊宏 堀 彰典 江連能弘 菊池 勳 保科高志 瀬尾明久 遅沢利尚 須田俊行
- 高48○大島 肇 瀬尾泰広 石川和之 薄井貴光 浦田謙一 野上大作 大場智朗 斎藤貴志 磯 尚志 菅野好一 佐藤美博 永井克佳
- 小野崎智明 樋口博明 小林稔和 熊田哲行
- 高49○常松洋一 檜山純麿 大野博志 山岸孝行 網野雅章 磯 慶彰 大島啓史 永山浩史
- 高50○大槻達郎 佐藤陽太 齋藤孝夫 辻健太郎 齋藤洋明

平成21年度紫塚同窓会一般会計予算

1. 収入の部

項目	本年度	前年度	増減	備考
前年度繰越	1,627,855	1,813,644	△ 185,789	
入会金	2,370,000	2,370,000	0	平成20年度卒業生の入会終身会費
会費	650,000	650,000	0	同窓生の終身会費
寄付金	100,000	50,000	50,000	寄付金
雑収入	522,145	486,356	35,789	会報の広告料、利息等
合計	5,270,000	5,370,000	△ 100,000	

2. 支出の部

項目	本年度	前年度	増減	備考
創立記念費	250,000	200,000	50,000	講師への謝礼、米費経費等
総会費	250,000	250,000	0	新聞への広告掲載、案内書等
十年会費	500,000	500,000	0	案内状の郵送、通信書等
会議費	150,000	150,000	0	常任理事会等の経費
通信費	50,000	50,000	0	常任理事会の案内書等
会報	1,300,000	1,300,000	0	会報の印刷、郵送等
卒業褒賞補助	100,000	100,000	0	卒業証書ホルダー代金の補助
母校活動補助	600,000	600,000	0	
慶弔費	450,000	450,000	0	祝い金、香典等
支部会等補助	450,000	450,000	0	支部会・同期会への補助金
旅費	330,000	330,000	0	支部会・同期会出席に伴う交通費等
事務費	100,000	100,000	0	消耗品等
事業積立	240,000	400,000	△ 160,000	110周年に向けての積立
雑費	70,000	70,000	0	郵便振替手数料等
予備費	430,000	420,000	10,000	
合計	5,270,000	5,370,000	△ 100,000	

平成21年度紫塚同窓会事業計画

- 4月17日(金) 第107回創立記念式典
- 4月17日(金) 監査(後藤・加藤監事)
- 5月8日(金) 総会及び十年会第1回準備会
- 5月16日(土) 総会及び栄典者祝賀会
- 6月下旬 同窓会報第34号発行
- 7月29日(水) 十年会第2回準備会
- 8月15日(土) 第56回十年会
(高11回、高21回、高31回、高41回、高51回)
- 2月下旬 正副会長監事会
- 2月下旬 常任理事会
- 2月28日(日) 同窓会人会式(高62回)

平成21年度各支部総会等

- 県庁紫塚同窓会総会 6月17日(水)
- 紫塚同窓会矢板支部総会 6月27日(土)
- 紫塚同窓会東京会役員・幹事会 7月17日(金)
- 紫塚同窓会ゴルフ大会会長杯 10月18日(日)
- 近畿紫塚会総会 10月24日(土)
- 紫塚同窓会東京会総会 11月6日(金)
- 小川地区紫塚同窓会総会 11月14日(土)
- 宇都宮紫塚同窓会総会 22年2月頃

第8回紫塚GFクラブ ゴルフコンペ参加者募集

- ◇開催日 平成21年10月18日(日)
- ◇開催場所 琵琶池ゴルフ倶楽部 大田原市藤沢琵琶池91-4
- ◇募集人員 20組:80人
- ◇競技方法 18ホール ベリア方式での団体競技及び個人競技。
なお、個人競技は年齢別コンペとし、以下のとおりとする。
※Aクラス(60歳以上)、Bクラス(60歳未満)
- ◇参加費 3,000円(賞品及びパーティー費)
- ◇プレー費 10,000円(昼食付き) キャディ付きは3,000円増し。
- ◇表彰 団体競技の部、個人競技の部にそれぞれ優勝カップあり。
その他、参加賞をはじめたくさんの賞品を用意しております。
- ◇問い合わせ先 紫塚GFクラブ事務局 滝川昌之(高23回)
大田原市役所まちづくり推進課内 TEL 0287-23-1916

「協力下さい」

財政基盤の強化について
副会長 井上成紀(高二二回)
当同窓会は同窓生各位の終身会費(一万円)を主な財源として運営しておりますが、終身会費制度を導入し十数年が経ち、生徒数の減少もあり会費収入が減少しております。この状態が続きますと次第に母校の支援も苦しくなっておりますので、収入増の手立てを考えねばなりません。

「協力下さい」
副会長 神島仁誓(高二四回)
平成二十四年に創立百十周年を迎える記念事業の一つとして、会員名簿の発行が総会で承認されました。本年度は、名簿の整備にご協力下さい。

編集後記

昨年引き続き会報編集に携わった。大先輩にも、若い会員にも読んで頂けるように努力したつもりである。アドバイスもあり、広告スペースを簡素化。活性化の基礎固めのため、例年より二ページ増とした。皆様のご協力に感謝致します。
会報担当 増淵忠行